

雷雲は10分間ぐらいで急成長する。時速5~40kmの高速で移動する。

授業中・下校時：放送等による一斉指示+自主的な避難行

危険信号

- かすかな雷鳴（ゴロツ）
- 雷光（ピカッ）
- 黒い積乱雲
- 強い風（突風、竜巻へ）

頑丈な建物内に避難

（テント・物置・車庫・
自転車置き場内は危険
電柱、樹木に近づかない）

▼状の黒い雲・強い風
巻き上げられた飛散物

まだ大丈夫は危険な判断
早めの判断で事故防止

活動の中断と避

活動の再開

竜巻避難

- 1階の窓のない部屋に避難
- 部屋（教室）窓・カーテンを閉め窓から離れて机下避難。
- 避難場所が無い場合は身を伏せる。
（頭部を守る避難行動）

安全な場所（本部設置）

- 人員点呼
- 被害状況把握
- メールで保護者へ情報提供

目安

最後の雷鳴から30分と

確認

気象情報（雷雲情報）の
継続的な収集

□登校する前（保護者の判断で自宅待機）

*登校時の安全確保が最優先

- ①待機後の登校は遅刻としない。
＜朝部活動は中止＞
- ②開門時間の弾力化を図る。

朝 激しい雷

□登校・下校途中（自己判断）

*危険な状況は店舗、民家への避難
→天候の回復を待って登校・下校する。

教職員の巡回